

報道関係各位

2007年5月7日
緑内障フレンド・ネットワーク

6月7日は“緑内障を考える日”
緑内障啓発イベント
緑内障 簡易自己チェック体験会 開催
～患者会員による無料相談会も実施～

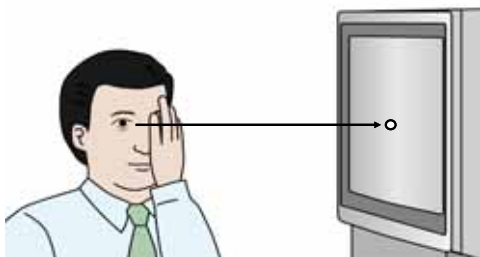
緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,600名)は、2007年6月7日(木)、JR東京駅イベントスペース「Break」(駅構内「メディアコート」)にて「緑内障 簡易自己チェック体験会」を開催します。

本イベントは、6月7日の“緑内障を考える日”にちなみ、緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につなげることを目的としています。昨年の10月に2日間実施し、668名の方が参加され大変好評をいただきましたので、今年も引き続き実施することとなりました。

会場では、テレビの砂嵐画面を用いて、緑内障の発見につながる視野チェックをご体験いただけます。そのほかにも、視野狭窄メガネを着用しての家事やパターゴルフ体験コーナー、6月7日にリニューアルする本会ホームページの音声読み上げソフトも実際に操作してご体験いただけます。

また、患者会員による緑内障についての情報提供や、病気や失明への不安、悩みごとなどにお答えする無料相談会も実施します。

【テレビの砂嵐画面によるチェック方法】



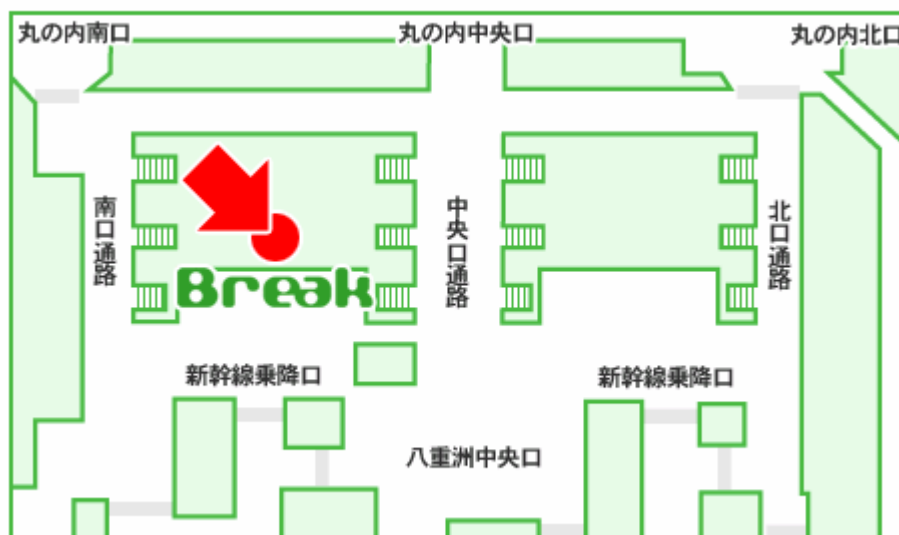
テレビ画面を番組が放送されていない空きチャンネルにし、砂嵐画面に設定します。
片目ずつ見て、画面の砂嵐の中に、動かない部分や黒っぽく見える部分、あるいはまったく見えない部分があれば、視野が欠けている可能性があります。

あくまでも自己チェックであり、正確な視野検査は眼科専門医による診察が必要です。

緑内障 簡易自己チェック体験会 / 相談会 概要

日 時:2007年6月7日(木) 11時～17時
会 場:JR東京駅イベントスペース「Break」(駅構内「メディアコート」)
内 容:テレビの砂嵐画面を用いた視野チェック体験、視野狭窄メガネを用いた家事や
パターゴルフ体験、患者会員による緑内障無料相談会など
参 加 費:無料

東京駅構内:Break 案内図



緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位とされています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)は緑内障の約7割を占めていると言われ、眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプです。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためにも、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の啓発を主に活動する患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

取材に関するお問い合わせ

株式会社トークス 担当:野村/伊藤

TEL:03-3261-7715

FAX:03-3261-7174

イベントに関するお問い合わせ

緑内障フレンド・ネットワーク事務局 担当:野田

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501

TEL:03-3272-6971